

学校の運営の問題など、解決すべき課題が数多くある。

本市としては今後、保護者や地域の方々との協議の場を設けて、率直な意見交換を行い、諸問題の解決に向けて鋭意、検討を進めていきたい。

自由民主党

●図書行政

議員 新市立図書館のセールスポイントについて伺いたい。

市長 新市立図書館は、県内で最大規模の開架25万冊、閉架55万冊の計80万冊の図書を収蔵する書架と、閲覧席を約300席設けることにしている。また、多くの市民の方々が利用できるように児童・青少年・社会人・障害者の専用コーナー及び地域資料・行政資料・国際情報資料のコーナーを設けるとともに、夜間・祝日も開館する予定にしている。なお、市民の利用機会が増えることに対応し、図書にICチップを取り付けるが、これを自動貸出機で読み込ませることで、カウンターを通すことなく自分で借りることが可能となり、手続きの大幅な短縮が図られる。さらに、図書の相談ができる専門カウンターを設けることにより、きめ細やかなサービスを提供できると考えている。

今後、新市立図書館によるサービスを充実させ、今まで以上に多種多様な図書を誰もがどこからでも利用できるように努めていきたい。

●まちづくり行政

議員 緑化推進策について伺いたい。

道路公園部長 民有地の緑化については、平成5年度に長崎市緑化基金を創設し、住宅における生垣や樹木に対する補助、事業所が行う樹木や芝などの植栽に対する補助及び建物の屋上や壁面などの緑化に対して補助を行っている。一方、市街地の道路を中心とした取り組みとしては、9年度から中心市街地の主要幹線道路や観光ルート道路植栽帯に、年間を通して楽しめる四季折々の花を植栽している。また、郊外の道路花壇や自治会花壇などについては、地元自治会や老人会、商店街など要望のあった団体に、本市でつくった花の苗や種を配付し、花壇の整備が図られている。

今後とも、さまざまな緑化手法を導入し、市民と企業と行政が一体となった緑化の推進を図っていきたい。

●観光行政

議員 2006長崎ランタンフェスティバルの取り組みと評価について伺いたい。

市長 長崎ランタンフェスティバルについては、開催を重ねるごとに観光客の集客数も増加をし、今回は天候にも恵まれ、また期間中に土曜と日曜が5日間あったこと等により、昨年より4万人多い86万人の集客があった。なお、今回から、安全対策及びリピーター対策として、中島川公園会場を新設し、観客の会場間の回遊を促進することで湊公園と中央公園の観客の一極集中の

緩和を図ったほか、眼鏡橋を中心に黄色いランタンで修飾することにより、川面に映る幻想的な雰囲気演出を行った。さらには、長崎さるく博のプレイベントや会場周遊スタンプラリー、地産地消の推進イベントなども実施し、いずれも好評を得ることができた。今後とも、魅力あるランタンフェスティバルを目指し、本市の経済の活性化につなげていきたい。

自民明政クラブ

●財政問題

議員 固定資産税の減など税収減に対する新たな税源の確保について伺いたい。

財政部長 市税減収に対する対応策であるが、三位一体の改革により平成19年度から所得税から個人住民税への税源移譲が実施予定であり、これにより約30億円の税収増が見込まれる。

次に、課税自主権の活用による新たな税源確保策としては、法定外税の新設と超過課税の実施が考えられるが、法定外税の新設については、まず財政構造改革等による歳出のスリム化を実施すべきであり、市民に新たな負担を求めるとは慎重であるべきとの結論に達し、実施に至っていない。また、超過課税については現在、法人市民税の法人税割においてはのみ実施しているが、他の税については、法定外税の新設見送りと同様の理由により、現在のところ実施する予定はない。

公明党

●新エネルギービジョン

議員 地域新エネルギービジョンの策定について伺いたい。

商工部長 地域新エネルギービジョン策定事業は、新エネルギーに係るデータの収集を行い、これをもとに地域全般にわたる新エネルギーの導入、普及啓発に係る基本計画及び施策の基本的な方向、重点プロジェクトの検討を行うものである。本市では、新エネルギー関連の製品製造や研究開発が行われており、新しいビジネスチャンスが芽吹いている。また、新エネルギー分野は、今後の成長分野であり、環境への配慮についてもさることながら、産業振興を図る上で地域の潜在能力を把握し、基礎調査を行うことは重要であると認識している。

地域新エネルギービジョンの策定については、環境や地場産業振興との関連で、その有用性について検討していきたい。